

事務事業事後評価シート[平成24年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	農林部農政課		■担当係	水田宮農係	
■評価事業名称	青年就農給付金				
■評価事業コード	050100 - 183	■会計区分	一般会計		
■総合計画での位置づけ	■政策	03 ひと・技・資源を組合せ活気うまれるまちづくり			
	■基本施策	04 地域産業を担う人づくりと雇用環境の向上			
	■施策	04 農林業の担い手等人材の育成支援			
■事業の種類	06 負担金・補助金(ソフト事業)		■政策・業務区分	政策	
■法令の根拠区分	法令に定めはあるが任意の自治事務				
■法令等の名称	新規就農総合支援事業実施要綱				
■関連計画の名称	きたかみ地域農業マスタープラン				
■事業の目的と概要	適正に給付金を交付する。給付要件を満たす青年就農者に対して年間150万円を最長5年間給付する。				

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成24年度事業計画	平成24年度事業量実績
01	青年就農給付金	(原則45歳未満の)独立・自営青年就農者		H24年度給付対象者 上期・下期給付された者3名、下期のみ 給付された者2名

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	備考
直接事業費				6,000	
人件費				2,911	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト				8,911	

4. 評価指標等の状況

事務事業事後評価シート[平成24年度事業]

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況

- A. 順調
- B. 概ね順調
- C. 遅れている

達成状況の分析

24年度は上期3名、下期2名の計5名に給付金を給付した。

問題点・課題等

給付金公募を募る際、更なる周知が必要である。

1. 直接的な受益者の範囲

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される

2. 事業廃止の影響

- 大きな不利益やリスクが生じる
- ある程度の不利益やリスクが生じる
- 不利益やリスクは小さい

3. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

4. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

5. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

6. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

7. 他市町村と比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

8. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

9. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

■今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小・要改善
- IV. 民間活用・協働事業化
- V. 廃止・休止
- VI. 完了

補足説明